

自分らしく生きる福祉社会をめざして

誰かに優しくできること それはとても素敵なこと



絵：水谷純一さん

このリーフレットは、障害がある当事者団体の私たちが思いを発信することで、障害の特性を知っていただき、理解していただけることを願って作成しました。

障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら、ともに生きる社会をつくることをめざして、平成28年4月1日から「障害者差別解消法」がスタートしました。

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 障害者団体部会

ちょっとした優しさで、暮らしやすくなります

ゲームセンターに行ったら、いすが固定されていました。娯楽施設やラーメン屋などの飲食店は固定席が多いのですが、固定席だと車いすのままでは利用できないんですよね・・・

目が見えないので、『こっち』『そっち』と言われてもわかりません。困っている時に『お手伝いしましょうか?』と声をかけてもらえるとほっとします。

外出は人とのふれあいもあって楽しみです。ただ、外出する時には、車いすで使えるトイレがあるか事前に確認しなくてはならないし、エレベーターも混んでいたらなかなか乗れません。また、障害者用の駐車スペースがいつも空いていなくて困ってしまいます。

車いすでバスに乗るのは時間がかかるので、乗客に迷惑そうな顔をされてしまいます。電動車いすでも乗れるタクシーを探すのは大変です。

一人ではトイレに入れない息子と一緒に女性用トイレに入ると、好奇な目で見られます。

皆、自分らしく幸せに生きていきたい

パラリンピックの選手が活躍しているのをテレビで見ました。カッコよかったです。僕も頑張ろう!と思いました。

障害があっても、働きたいし、恋人もほしい。楽しい毎日を過ごしたい。

今年就職した自閉症の息子は、毎日楽しそうに働いています。初任給で大好きなCDを嬉しそうに買ってきました。

私たちの思い ～ こんなこと あんなこと

障害者もコミュニケーションは大切です

耳が聞こえないので、口の動きで読み取ることもあります。相手がマスクをしていると読み取ることができません。

自閉症の息子は、『ダメ!』など否定的な言い方だとパニックになることがあります。でも、この前、高いところに上ろうとしたら『降りましょうね』と優しく声をかけてもらって、素直に降りてくることができました。

病院で名前を呼ばれても、耳が聞こえないからわからなくて、診察が最後になってしまいました。それからは、『耳が聞こえないので教えてください』と頼んでいます。

言語に障害があるので、伝えたいことを理解してもらうのに時間がかかります。一生懸命理解しようとして聞いてくれるとうれしいです。

脳性マヒだけど、言われていることはわかります。それなのに、自分ではなく、付添の人に話しかけたり説明する人がいます。話し相手は自分なのに・・・

心の病からの回復にとって、人と人とのつながりはとても大切だと感じています。新しい出会いが訪れ、支えになる人が増えるたびに、回復の道を歩んでいることが実感できます。

心の病や内部障害のように、外見ではわかりにくい障害もあります

オストメイト(人工肛門・人工膀胱の人)は、多目的トイレが必要ですが、本当に利用したい時に利用できなくてハラハラしたことがあります。

ペースメーカーを入れているので、ヘルプマークを靴につけています。マークを見た人が電車で席を譲ってくれて、助かりました。

優先席に座っていたら、イヤな顔をされました。人工透析をしているのですが、外見ではわかってもらえないんですよね・・・

障害者団体部会は、横浜市内の障害当事者・家族団体や障害事業所など48団体で構成され、障害に関する課題の共有や情報交換などを行っています。

横浜市知的障害者育成会／横浜市手をつなぐ育成会／横浜市原爆被災者の会／横浜市港協会／横浜市腎友会／横浜市脳性マヒ者協会／横浜市肢体不自由児者父母の会連合会／横浜市視覚障害者福祉協会／横浜市自閉症協会／横浜市肢体障害者福祉協会／横浜市聴覚障害者協会／神奈川県筋ジストロフィー協会横浜支部／横浜障害児を守る連絡協議会／横浜市身体障害者団体連合会／全国心臓病の子どもを守る会横浜支部／日本二分脊椎症協会神奈川支部／横浜市車椅子の会／横浜てんかん協会／横浜市精神障害者家族連合会／横浜市オストミー協会／横浜市心身障害児者を守る会連盟／横浜市中途失聴・難聴者協会／よこはま言友会

横浜タルク・ケア・センター／横浜市グループホーム連絡会／横浜市障害者地域作業所連絡会／横浜市障害者地域活動ホーム連絡会／横浜重心グループ連絡会／ばざらネット／みどり福祉ホーム／サンハイム緑園都市／トムトムの家／NPO法人なかだ／せや福祉ホーム／ブルースター横浜／サンハイム仏向／グループホームソレイユ／NPO法人きてん／サンハイム西川島／サンハイム鶴ヶ峰／サンハイム羽沢／港南福祉ホーム／障害者地域活動ホームいずみ会館／障害者自立生活センターIL・NEXT／ことぶき福祉作業所／横浜ひまわり家族会／横浜市精神障害者地域生活支援連合会／横浜市精神障がい者就労支援事業会／横浜市民もじ会

【団体についてのお問合せは横浜市社会福祉協議会障害者支援センターまで(連絡先は4面参照)】

ご存知ですか？

～障害者に関するマーク～

※この他にもさまざまなマークがあります。



【ヘルプマーク】

外見からはわからなくても、援助や配慮を必要としていることを示すマークです。



【盲人のための国際シンボルマーク】

視覚に障害がある人の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備等につけられた世界共通の国際シンボルマークです。



【障害者のための国際シンボルマーク】

障害がある人が利用しやすい建築物や施設であることを示す世界共通のマークです。



【耳マーク】

耳が不自由であることやそれらの人へ必要な支援を行うことを示すマークです。



【オストメイトマーク】

オストメイト(人工肛門・人工膀胱の人)を示すとともに、オストメイト対応のトイレ等の設備があることを示すマークです。



【手話マーク】

「手話で対応をお願いします」「手話で対応します」を示すマークです。



【ほじょ犬マーク】

身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)と一緒に利用できる施設であることを示すマークです。



【筆談マーク】

「筆談で対応をお願いします」「筆談で対応します」を示すマークです。

誰かに優しく
できること
それはとても
素敵なこと
誰かに
ありがとう
言ってもらえること
それはとても
うれしいこと
助けたり
助けられたり
それはちゃんと
生きてるって
ことなのかも
しれないね

書：土山裕真さん

発行：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 障害者団体部会

〒231-8482

(平成30年3月作成・令和5年12月改訂)

横浜市中区桜木町1-1 横浜市社会福祉協議会障害者支援センター内

TEL045-681-1211 FAX045-680-1550

e-mail: jimukyoku@yokohamashakyo.jp

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/index.html>

障害がある人への接し方はこちらへ 冊子「心と手を貸してください」

(横浜市障害者社会参加推進センター発行)



※このリーフレットは
赤い羽根共同募金
配分金で作成して
います。